

持続的生産強化対策事業のうち次世代国産花き産業確立推進に関する事業評価票

都道府県名	事業実施主体名	対象作物・畜種名	事業実施初年度	成果目標の具体的な内容		成果目標の達成状況			評価機関名	北陸農政局
						基準年 年度	目標年 令和5年度	達成率	具体的な 取組内容	
新潟県	新潟県花き振興協議会	チューリップ ユリ	令和2年度	新潟市中央卸売市場花き部及び新潟植物地方卸売市場の県産花き取扱数量の合計 10,018千本	取扱数量の増加(10%以上) 1,001千本	平成26～30年 5中3平均 9,017千本	5,593千本	-342.0% 未達成	・検討会の開催 ・低コスト・省力生産技術等の導入実証等	成果目標は未達成であるため、事業実施主体に対し目標達成に向けた改善計画の提出を求める。
				新潟市の家計調査における切り花及び園芸用植物・園芸用品の支出金額 18,559円	支出金額の増加(5%以上) 889円	平成26～30年 5中3平均 17,675円	18,224円	62.1% 未達成	・検討会の開催 ・花文化の展示	成果目標は未達成であるため、事業実施主体に対し目標達成に向けた改善計画の提出を求める。
石川県	石川県花き振興地域協議会	エアリーフローラ (フリージア) 切り花葉ボタン	令和2年度	活動区域におけるエアリーフローラの出荷量の増加 259千本	出荷量の増加(10%以上) 24千本	平成25～29年 5中3平均 235千本	268千本	137.5% 達成	・検討会の開催 ・低コスト・省力生産技術等の導入実証 ・生産・加工・流通における品質管理技術等の導入実証	エアリーフローラは、出荷量増加の目標に向けて、需要期に合わせた出荷技術を確認したことにより、生産量が拡大され、成果目標は達成された。
				活動区域における切り花葉ボタンの出荷量の増加 573千本	出荷量の増加(10%以上) 52千本	平成25～29年 5中3平均 521千本	429千本	-176.9% 未達成	・検討会の開催 ・低コスト・省力生産技術等の導入実証 ・生産・加工・流通における品質管理技術等の導入実証	成果目標は未達成であるため、事業実施主体に対し目標達成に向けた改善計画の提出を求める。
				エアリーフローラの新たな販路の拡大		令和元年 5市場	6市場	100.0% 達成	・検討会の開催 ・生産・加工・流通における品質管理技術等の導入実証 ・花育活動	エアリーフローラについては、新たな販路の拡大の目標に向け、市場関係者との連携によるPRIにより、関東への出荷先を確保したため、成果目標は達成された。
				切り花葉ボタンの新たな販売形態の拡大(ショート規格の新設)		令和元年 0	1	100.0% 達成	・検討会の開催 ・生産・加工・流通における品質管理技術等の導入実証 ・花育活動	切り花葉ボタンについては、新たな販売形態の拡大の目標に向け、研究機関と連携したホームユースに利用しやすいショート規格の栽培技術実証により、新たな出荷規格が新設され、成果目標は達成された。
福井県	福井県花き連絡協議会	キク	令和2年度	事業実施主体の活動区域における花きの10a当たり生産コストの低減 953,230円	コストの低減(5%以上) 50,170円	平成30年 1,003,400円	950,284円	105.8% 達成	・検討会の開催 ・収量向上技術の導入実証等	アブラムシ類、アザミウマ類やハダニ類、白さび病、黒斑病、褐斑病に強い新品種の選定と栽培技術の実証に取り組み、農薬の一部を削減できたことで生産コストの低減につながり、成果目標は達成された。
				活動区域における花きの10a当たり収量の増加 37,800本	収量の増加(5%以上) 1,800本	平成30年 36,000本	37,806本	100.3% 達成	・検討会の開催 ・日持ち性向上技術の導入実証等	品質管理技術の実証・導入に取り組んだことで収量増加につながり、成果目標は達成された。
				活動区域における花きの販売業者の販売金額の増加 21,000,000円	販売金額の増加(5%以上) 1,000,000円	平成26～30年 5中3平均 20,000,000円	21,800,000円	180.0% 達成	・検討会の開催 ・学校等での花育体験等	プロモーション活動や花育体験等、消費拡大等の取組を通じて、活動区域内における花きの販売業者の販売金額は目標値を超えて増加しており、成果目標は達成された。

(注) 成果目標の達成状況欄に達成状況の経過を記載すべき事業にあっては、記載例を参考に列を挿入し、記載するものとする。